

# ARUBEKIYOUWA



photo by MINORU ICHIGE

お話  
「亡き魂の現前——千麗と河合隼雄」  
河合 俊雄  
京都大学こころの未来研究センター教授

音楽原案・構成 西川 千麗  
作曲・音楽監督 上田 益  
ヴァイオリン 福富 博文  
ハーフ 村上 ひろみ  
打楽器 橋 政愛  
箏 澤 千左子  
大鼓 谷口 正壽

あ  
る  
べ  
き  
よ  
う  
わ  
は

河合隼雄作「明恵 夢を生きる」より

コンサート

とき 2014年4月13日(日) 午後5時開演 4時50分開場

\* 細野グリーン会館前に4時45分までに御参集下さい  
集合場所から舞山荘へご案内します

ところ 千麗舞山荘

京都市右京区京北細野町  
tel 075 (855) 0607

\* 駐車場あり

\* JRバス周山行「細野口」下車(バス停場所が変わりました)

\* 京都駅八条口・京阪祇園四条より乗合タクシーを運行します(有料)  
前もって申込の方に限らせていただきます(申込は千麗の會まで)

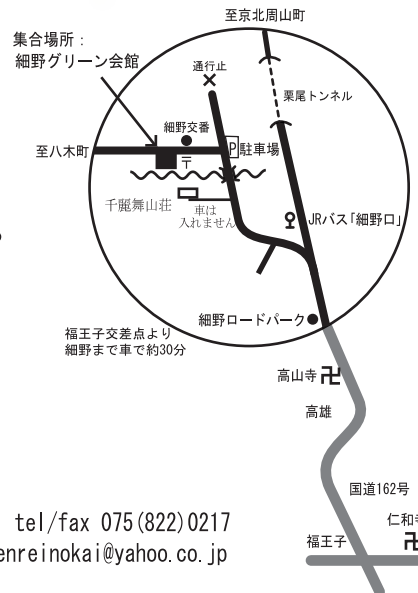
Ticket 5000円(Book付) 千麗一周忌記念本「舞の靈性」

\* 舞踊公演ではありません  
\* 小さなお子様のご入場はご遠慮下さい

主催 申込み・問合せ 千麗の會

www.senrei-nishikawa.com

tel/fax 075(822)0217  
senreinokai@yahoo.co.jp



SENREI/MYÔE/DREAMING

…遠い記憶の過去といつか出遭ふであろう未来とを  
今物語ってくれるものそれが夢なのです

あるべきようをもとめ続け

800年の歳月を超えて響きあう<sup>みょうえ</sup>明恵と千麗の夢

東洋と西洋の音があやなす

夢のかよひ路をたどります

「あるべきようは」。京都高山寺開祖の明恵上人(1173 - 1232)が、まず守るべき明言としてかかげた言葉です。明恵は、19歳から60歳の死に至るまで膨大な夢を丹念に記録考察して、自らが仏の道を歩む道標としました。

臨床心理学者河合隼雄氏はこの明恵の生涯にわたる「夢記」を読み解き、ユングの心理分析に匹敵する夢へのアプローチと現実の人生への反映を12世紀に実現した、稀有な記録であるとする研究書「明恵 夢を生きる」を著しました。

日本舞踊家西川千麗はその著書に接した感動から、人間の生と死を主題に、明恵と自身の夢が織り成す舞踊『阿留辺畿夜宇和』を創作。1992年の初演に接し河合氏は、明恵の思想世界を言葉によらず直観的に感じ取れると高く評価、特にその音楽について「明恵のなかで並立していた西洋的ともいえる合理性と東洋の華厳思想の融合が音楽で実現している」と述べ、創作舞踊のヨーロッパでの上演を提言。

「それこそ夢のようなお話です」と答えた千麗でしたが、2003年にヨーロッパ巡演を実現、イタリアではアッシジの聖フランチェスコ聖堂において異例の舞踊公演となりました。

千麗は2012年12月に世を去り、今回は音楽をコンサート上演します。800年の時間を超え、男女の性差を超えて明恵の世界を舞った千麗の創作の軌跡を、東と西で響きあう音楽から感じ取っていただけることと思います。

## 西川千麗 NISHIKAWA SENREI

京都生まれ。二代目家元西川鯉三郎、三代目家元西川右近に師事。1981年より創作舞踊公演「千麗舞の夕」を始め、京都・東京で毎年開催。2000年より自作品の海外公演を始め、「雪女」(原作小泉八雲)「よだかの星」(原作宮澤賢治)をポーランドで上演。「阿留辺畿夜宇和」でイタリア・ドイツ・スイスを巡演。「カミーユ・クローデル」をフランス・スイスで上演。作品の構成、振付、脚本、衣裳、舞台美術、音楽の全てを自己の原案で創り上げるスタイルを貫き、高い精神性と現代的感性にあふれた作風は、日本舞踊の世界を超えた幅広い観客層の支持を得た。

## 河合俊雄 KAWAI TOSHIO (お話)

1957年生まれ。82年京都大学大学院教育学研究科修士課程修了。Ph. D(チューリッヒ大学 87年)、ユング派分析家資格取得(90年)。京都大学大学院教育学研究科助教授、同研究科付属臨床教育実践研究センター教授を経て京都大学こころの未来研究センター教授。著書に「ユング派心理療法」(ミネルヴァ書房)、「村上春樹の『物語』」(新潮社)、編著に「大人の発達障害の見立てと心理療法」(創元社)訳著に「日本人の心を解く 夢・神話・物語の深層へ」(河合隼雄著・岩波現代全書)他。

## 上田 益 UEDA SUSUMU

作曲家・サウンドプロデューサー

京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。京都音楽協会賞受賞。クラシック音楽の作曲のほか、長野オリンピック公式楽曲「WINTER FLAME」の作曲や神戸ルミナリエの音楽、またテレビドラマ音楽、NHKの番組音楽などを手掛ける。2008年より追悼と希望の合唱プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」を神戸を始め、自然災害や戦災で傷ついた地域を中心に東京、兵庫県佐用町、沖縄、長崎、広島、仙台、南相馬、岩手県野田村などで行っている。千麗作品「あのにむⅠー『雪女』より」「独語独笑ー鎮魂」杉田久女がこと」など。

## 谷口正壽 TANIGUCHI MASATOSHI

能楽石井流大鼓方

日本能楽会会員。小鼓を愛好していた祖母の影響を受け幼少の頃より能に親しみ、10歳で石井流宗家代理の故谷口正喜に入門。11歳「百萬」で初舞台の後「石橋」「猩々乱」「道成寺」等の大曲を抜く。平成23年 谷口正壽に改名。異分野のアーティスト等との共演にも挑戦し能楽の新たな可能性を探る。千麗作品「カミーユ・クローデル」「松風幻想」で共演。

## 橘 政愛 TACHIBANA MASAYOSHI

打楽器

国立音楽大学打楽器専攻卒。既成の打楽器に加え、鉄片、木片、植木鉢などを使い、独自の透明度の高い音で作品(創作舞踊・語り等)の内容に添った音楽を創る。日本の文化に深く関わりのある竹に興味を持ち、自ら楽器を創り音楽を奏する「東京楽竹団」を結成。代表を務める。千麗作品「千麗源氏物語」「よだかの星」「あのにむⅢー般若心経をテーマに、村上華岳の絵をモチーフに」「千麗十牛図」など作曲共演。

## 福富博文 FUKUTOMI HIROFUMI

ヴァイオリン

1981年ザルツブルグ音楽祭参加。1982年京都市立芸術大学卒業後、独奏、室内楽、協奏曲奏者として活躍。国内にとどまらずヨーロッパ各地、アメリカ、オーストラリア、中国と演奏の場をひろげ、正統的レパートリーから新作・初演まで網羅した意欲的活動は高い評価を得ている。神戸フィルハーモニック・ソロコンサートマスター、奈良県音楽芸術協会会員。千麗作品「阿留辺畿夜宇和」「聖地アッシジの対話」で共演。

## 澤千左子 SAWA CHISAKO

地歌・箏曲

6歳で当道会に入門、15歳で宮城会中谷勝子師に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科在学中に初代富山清琴師に地歌を学ぶ。現在、伝統音楽研究会「華蓮の会」主宰、上方唄松浪流初代家元松浪千寿。千麗作品「秋の女」「SHUZAN幻想」「千麗古今道成寺」など作曲共演。

## 村上ひろみ MURAKAMI HIROMI

ハープ

同志社大学美学及び芸術学専攻卒業。故L. パーンスタイン氏の提唱によるPMFオーケストラオーディションに合格。ソリストとして東京ゾリステン、関西フィルハーモニー等と協演。故雨田光示、三浦由美子の両氏に師事。マリー・C・ジャメ、故P・ベルクハウト両氏の指導を受ける。室内楽アンサンブル、各地のオーケストラとの共演の他、ラジオ特別番組の音楽担当などクラシック以外の分野でも自ら編曲を手がけ演奏活動を行う。千麗作品「阿留辺畿夜宇和」で共演。